

かわの

市議会報告 ニュース



小金井市議会

第3回定例会

令和4年度の決算審査も含む第3回定例会が、8/31~10/5の会期で開かれました。

行財政改革推進調査等別委員会

9/20に開かれた委員会で、「行政サービスのデジタル化」について質疑・要望しました。

学校の保護者会、個人面談等

小金井市は、GIGAスクール構想のもと令和2年より市内小中学校の児童生徒に1人1台タブレット端末を貸与し、高速インターネットを整備している。共働きが当たり前となっている昨今、保護者会や面談等はオンラインも併用しながら、学校を訪問するかオンラインを活用するか選択できるようにすること。また、個人面談について、学校と保護者で紙媒体のやりとりによって実施している日程希望調査をオンライン化し、学校・保護者双方の負担を軽減することを要望しました。



予算特別委員会

令和4年度は西岡市長が任期1年余りを残し突然辞職し、市政を混乱させ、市民に大きな不利益を与えた決算年度。

一般会計6年連続不認定

我が会派は、以下4点の問題点があり不認定としました。

反対 **16**

- ・自民信頼(五十嵐、遠藤、吹春、河野) 4
- ・子どもの権利(片山、渡辺大、高木) 3
- ・共産党(水上、たゆ、森戸) 3
- ・公明党(小林、渡辺ふ) 2
- ・参政党(高藤) 1
- ・生活者ネット(安田) 1
- ・緑つながる(坂井) 1
- ・街の仲間(清水) 1

賛成 **6**

- ・みらい(岸田、沖浦、鈴木、村山) 4
- ・子ども(古畑) 1
- ・こがおも(水谷) 1

※会派名略称及び敬称略
※宮下市議(公明党)は議長のため採決に加わらず

また、基金の積み方に関して未だ課題があり、計画的な財政運営を進めるべきであると要望しました。



1 計画性を欠く保育施策

民間園の大量新設により、待機児童解消を通り過ぎ、定員割れを起こす状況となった。また、保育園新設のための事務作業が多くなり、その後発覚した(株)コスモズの補助金不正受給の問題まで続いた可能性が考えられる。

2 新庁舎建設の遅れ

庁舎建設に関する全員協議会がまともに入る段階で中断となり、約1年経過してから協議会の検証が行われる等新庁舎建設が遅れ、市民に数億円規模の損害をもたらした。

3 集会施設・公民館の設備不良

度重なる空調設備の故障が起き、未だ修繕に至ってない施設もあり、市の対応の遅れは否定できない。

4 コンプライアンス

適切な処理の積み重ねが重要なのが行政の事務執行だが、監査委員に指摘されている通り審議会委員の報酬未払い等決算年度は同種の不祥事例が繰り返され、認識の甘さが浮き彫りになった。

昨今の事情を鑑み、我が会派では、施設の改修・修繕の時期にとらわれず早急に空調設備を更新する等安定稼働に向けた対策の強化を求めるため、「公民館や集会所の冷暖房の安定稼働を求める決議」を策定。全会一致で可決されました！

令和6年度 予算要望書提出

我が会派は、令和6年度予算編成に関する要望書を市長に提出しました。

武蔵小金井駅北口再開発や東小金井駅北口区画整理事業の早期整備、物価高騰対策、幼児・学校教育、学童保育、健康や福祉、財政計画について等様々な項目を市民や各種団体からのご要望をもとにまとめました。今後も皆さまの声を市政に反映するため全力を尽くします！



3度目の

一般質問に登壇

1 優先整備路線 (小金井3・4・11号線)について

詳しくはこちらをご覧ください



かわのニュース vol.3

▶年間400万円をかける交通誘導員の配置

Q1. 前回定例会で、市長は3・4・11号線に頼らない安全性の確保方法を検討すると表明、**連雀通りの通過交通の危険性のある地域について「交通誘導員」の配置を続ける**と答弁した。現在の対策で、**市民を守れるとお考えか？**

この交通誘導員の配置には、年間約400万を要し、平成元年からこれまで概算で1億円の費用がかかっている。3・4・11号線が整備されれば、防災やバリアフリー等様々な問題の解決になるだけでなく、年間400万円の財政負担軽減にもつながる。見解を伺う。

A. 当該地域に交通誘導員の配置だけでは、対策は十分であるとは考えていないが、一定の効果があると認識しているため継続していく。財政負担の軽減ではなく、本市の環境保全の観点で判断する。

Point! 環境保全について否定するものではないが、市長自身が安全対策として十分ではないと認める対策を見直すことなく、市民から預かる税金を投入し続ける市長の姿勢は残念でならない。

2 小金井産農産物のブランド力向上について

農業体験! じゃがいも 100kg 植えました!



農林水産省は、都市農地は将来宅地化すべきものと位置づけていたが、近年、都市農地がもつ

- ①景観形成②交流③食育・教育⑤地産地消⑥環境保全⑦防災等様々な機能の評価が高まり、

都市農業に関する考えは変化している。しかし、本市では農家数は平成22年度以降25%減少し、農地も平成23年から16.3ha (江戸東京たてもの園2個分相当) が失われ、農業産出額も年々減少している現状にある。生産者・消費者双方が魅力を感じられる小金井市が誇る農産物のブランド力向上・販売競争力の強化に努めないかと強く要望する。

前回定例会でも取り上げた「優先整備路線小金井3・4・11号線について」と「生産者にも消費者にも魅力を感じられる小金井市が誇る農産物のブランド力向上・販売力強化」の2点について質疑しました。

▶市長が「はけと野川を破壊」と主張する根拠は？

Q1. 市長は、はけと野川の自然と文化を壊す都市計画道路は都へ中止、見直しを要望することを選挙公約に掲げて当選したが、**そもそも都市計画道路の整備がはけと野川の自然を壊すというのは事実なのか。**

国分寺崖線は約30kmにわたって自然豊かな環境が残り、いくつもの道路が整備されている。近隣では「調布保谷線」「府中所沢線」の2路線が国分寺崖線を交差し整備されているが、東京都の「東京都環境影響評価条例の事後調査報告書」によると環境に係る測定値は予測値を下回り、道路整備により環境が破壊されたという事実はない。道路整備が、はけと野川を壊すと主張する根拠は何なのか。

A. 令和3年11月東京都による「環境概況調査委託報告書」によると道路構造によっては動植物への影響があることが報告されている。

Q2. 「環境概況調査報告書」には、道路の構造によっては植物や動物に影響を与える可能性があると考えられているが、**公約を立てた時点では道路構造は明らかになっていない。**

さらに、前定例会で市長自身も「都の検討内容の一部が開示されていないため、整備の影響について答弁が難しい」と答弁していたが、選挙公約の根拠は何か？また、国分寺崖線部は既に居住されている方もおり、大規模な開発も行われているが環境が失われたのだろうか。具体的に何がどのように失われるのか。

A. 環境が失われる程度について具体的に答弁することは困難だが、はけと野川の環境が変わることは、壊されることに間違いはない。都市の近郊であり、宅地開発の進む利便性が高い地域であるからこそ、豊かな自然の保全が重要である。

Point! 市長は根拠なく「はけと野川を破壊する」と主張しているのではないかと

▶市長が策定した行政計画と公約との矛盾

Q1. 本年5月に市長自らが策定し公表した地域防災計画には以下が明文化されている。

- ▶「都市計画道路については「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」及び「小金井市都市計画マスタープラン」に基づき、特に南北方向の道路基盤(小金井3・4・11号線)形成に向けて整備を推進する」
 - ▶市の責務として、災害対策のあらゆる施策を通じて、市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、その安全を確保することなどに最大の努力を払わなければならない
- 都に中止・見直しの要望書を提出することは市長自ら策定した計画に反するのではないかと

A. 地域防災計画では、都市計画道路の整備は都市計画マスタープランに基づくものであって、情勢の変化に応じ計画の見直しもあり得ると記載があるため、要望書を提出することが直ちに地域防災計画に反するとの理解はない。

Point! 一方、副市長は「必要な手続きを経て策定した行政計画に沿った取組が適切。市が実施する要望についても、行政計画との整合性に一定の配慮をする必要がある。」と答弁

Q2. 要望書を提出することで小金井市に与えるメリット・デメリットはなにか。

A. メリットは、小金井市の財産である、はけと野川の自然の保全であり、デメリットは、避難路の確保、災害時や平時の救急活動における通行問題である。今後も、都市計画マスタープランに即して執行する。

Point! 現時点で、道路整備による環境影響を判断する根拠はなく、デメリットにあげた課題を認識しながら、市長に就任してからこれまで約1年間解決方法が何も示されていない。12万人市民の代表である市長として、非常に残念な答弁である。行政として、声なき声をどれだけ把握し、適切な行政サービスの提供による市民の生活の質を向上出来るかが大事であり、行政の長としての真価が問われる部分であると考え。市長には、地域の安全性向上や防災への備えを進めてほしいといった声にも耳を傾け、前定例会で指摘した市道から都道へ格上げした過去の経緯も踏まえ、東京都や周辺市と連携して市政運営に取り組みされるよう改めて要望する。

Q1. これまでブランド化というと「江戸東京野菜」に本市は力を入れてきたが、

- ▶原種であることから栽培が難しい
- ▶大量生産できず、少量多品目生産の小金井市のスタイルに合わない
- ▶秋の黄金井フェア等は開催時期に合わせ収穫することの難しさから、江戸東京野菜をメインとする出店者が年々減っていった等の課題があり、江戸東京野菜の「付加価値」を生み出すことの難しさがあったと思う。農業者に更なる負担を課すことなく、「江戸東京野菜」の活用・発展を考えるならば施策展開が必要になるが、市の見解は？

A. 江戸東京野菜について、一定程度認知されたが、日常の中で使われる野菜として定着しているとは言いえない状況と感じている。江戸東京野菜がもつ伝統や文化・食育といった要素は大切だが、どのような取組みが本市にとって有効か農業者の声を聞きながら研究する。

Point! 行政が「江戸東京野菜」を施策として支援していく方針はないのか。様々な課題を解決するための支援策を検討しないのか。疑問が残る答弁である。

Q2. 江戸東京野菜に見られるように、ブランド化というブランドの利用条件を厳しくし、質を担保する方向が多い。

しかし、国分寺市が行っている「こくべじ」の取組を見ると、ブランド使用の枠組みを市内の関係者(商業・観光業等)の多くが参加できること、利用登録の要件をブランドの普及や情報発信に繋がるものとしており、少量多品目生産の小金井市のスタイルに合致するものであり、小金井市の現状の取組を更に小金井市全域の様々な農家に広げよう一つ発展させていくには必要な取組ではないかと考える。

地域コミュニティが一体となって都市農業に関わり、まちの価値や魅力向上につながる取組や都市農業が持続可能となるための施策基盤の構築や支援体制を整えていくことを強く要望する。

A. 行政だけではなく、様々な関係団体と協力しながら、どのような取組が有効か、本市の地域特性を踏まえつつ、研究する。



かわの麻美 近況報告

市内各所でお祭り開催!

第4年ぶりとなるお祭りが各所で開催されました。私もお祭りのお手伝いや大太鼓をひいたり、神事に参列しました!



立て看板設置&広報活動

看板を市内に設置し始めました!また、福田かおる東京18選挙区支部長と共に自民党の広報宣伝カーで市内を巡っています。



中谷山青壮年部主催 「第50回敬老うどん会」

青壮年部の皆さんが粉から作ったうどんに舌鼓を打ちながら、小金井囃子の演目を楽しみました!



JC(青年会議所)活動

設立50周年記念事業や全国大会に参加し、明るく豊かな社会の実現のため、引き続き地域貢献活動に努めたいと感じました!

毎日、議員活動と育児に 一生懸命取り組んでいます!



前原町連合大運動会

実行委員の趣向を凝らした競技に参加者の笑顔が輝いていた運動会!
来年はリレーを走りたいなあ...

Profile

かわの麻美

プロフィール

- 1988年小金井市生まれ小金井市育ち。前原町在住。
- 6歳と4歳の2児の母。
- 愛の園保育園、本町小、国立学園小、実践女子中・高、明治大学卒業、楽天グループ勤務



終戦の日

78回目となる終戦の日に、靖国神社社殿に参拝。先人の御霊に哀悼の誠をささげ、日本と世界の平和を祈りました。

かわの麻美
後援会
ご入会者
募集中!

ご入会はお気軽に
メール・お電話等で

お困りごとやご相談等、お気軽にご連絡ください!

連絡先

携帯 090-9249-6546

Mail asami_k104@yahoo.co.jp

SNSで活動内容をご覧ください

